

## 基本理念評価実施要領 (案)

### 1. 目 的

本市では、平成 21 (2009) 年 12 月に議決した茅ヶ崎市総合計画基本構想 (以下「現行基本構想」という。) において、将来の都市像「海と太陽とみどりの中でひとが輝き まちが輝く 湘南・茅ヶ崎」の実現に向けて、総合的な政策展開の基本的な指針として、五つのまちづくりの基本理念を定めました。これは、本市のまちの特徴、近年の動向、現状や課題、今後の見通しなどを踏まえて、10 年間の市政を展開するうえでの方向性を示したものです。

現行基本構想が、平成 32 (2020) 年度をもって終了することから、平成 29 (2017) 年 9 月に茅ヶ崎市自治基本条例の規定に基づき、平成 33 (2021) 年度を初年度とする新たな総合計画 (以下「次期総合計画」という。) の策定に着手しました。

次期総合計画の策定にあたり、現行基本構想に基づいた、7 年間 (平成 23 年度から 29 年度まで) の取組を総括し、進捗状況を把握するとともに残された課題を整理する必要があります。併せて、次期総合計画の計画期間を想定したうえで、今後の取組の方向性を検討する必要があります。

こうしたことを踏まえ、次期総合計画策定の基礎資料とするため、基本理念を単位とする評価を実施するものです。

### 2. 対 象

現行基本構想のまちづくりの目標体系図に位置付けられた、五つのまちづくりの基本理念を単位として、平成 23 年度から 29 年度までの 7 年間の取組について評価を実施します。

なお、各分野における目標の達成状況等を踏まえ、総合的な評価を行う必要があることから、評価の実施にあたっては、政策評価を一体的に実施することとします。

### 3. 評 価 の 視 点

基本理念には、事前に個別の評価指標を設定していないことから、評価にあたっては、市民満足度調査における満足度の推移を参考にするとともに、各政策における投入資源 (ヒト・モノ・カネ) 及び実施してきた主要な事業を明らかにし、各政策目標の数値目標の達成状況を捉えたうえで、次の視点により評価を行うものとします。

#### (1) これまでの取組について

- ・ 基本構想策定時に基本理念ごとに示した、市政を展開するうえでの基本的な指針に沿った取組が進められてきたか、課題として認識していた事項にどの様に対応し、課題を解決してきたか。
- ・ 政策目標ごとに掲げた目指すべき将来像の実現に向けて、どの様な取組を進め、課題解決を図ってきたか。どの様な課題が残されているか。
- ・ 考察に際しては、基本構想策定後に生じた、当初想定し得なかった事象等も考慮しつつ、課題として残された原因について分析を行う。

## (2) 政策の効果について

各政策において当初設定した数値目標の達成状況から、政策の進捗状況を測るとともに、市民満足度調査における満足度の推移を確認することで、各取組が政策を推進するうえで適切な手段であったか、政策展開として適切な資源投入であったかを検証します。

## (3) 指標及び数値目標の設定について

予め設定した指標及び数値目標が基本理念や政策目標を実現できているか否かを測るものとして、適切なものであったか検証します。

数値目標を達成しているか否かではなく、「数値目標の達成＝政策目標（基本理念）の実現」となる様な指標を設定できていたか、という観点で指標についての検証を行います。

## (4) 次期総合計画期間を想定した課題認識と取組の方向性について

各政策における現計画期間中に解決が見込めない課題と、社会情勢の変化等により発生することが想定される新たな行政課題に対応するため、課題認識と次期総合計画における政策の展開の方向性を検討します。

特に、次期総合計画の計画期間は、本市においても人口減少が始まることが想定されることから、本市を取り巻く環境の変化を的確に予測したうえで、継続的な課題も含め、全ての政策において取組の方向性を改めて見直す必要があります。

各部局において「あるべき姿（本来実現したい姿）」を想定したうえで、その達成を阻害する課題の解決という視点により検討を行います。

## **4. 評価の手法**

多様な視点による評価を実施し、評価の客観性や意思決定の信頼性向上を図るため、次の3段階で評価を実施します。

- ①政策目標主管部局及び企画部による自己評価（内部評価）
- ②総合計画審議会による評価（外部評価）
- ③市長による評価（評価の決定）

## **5. 評価結果の反映**

基本理念の評価結果は、次期総合計画の策定に反映させるものとします。

なお、評価の過程において、短期的に改善可能とされたものについては、現行の総合計画の期間において課題解決に向けた取組を進めるものとします。

基本理念評価シート【政策目標】（案）

1. 基礎情報

基本理念	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとつくり	評価担当部局
政策目標	1 次世代の成長を喜びあえるまち	こども育成部
目指すべき将来像	安心して子育てができるサポート体制ができている 子育てを支え合える地域が 子どもを産み育てやすい 多様なニーズに合わせた保育サービスが提供されている	

企画経営課にて入力

2. これまでの投入資源

（単位：百万円）

一般会計	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
決算額	12,209	10,963	11,152	11,725	12,878	13,451	14,063	86,441
事業費	10,797	9,874	10,062	10,611	11,713	12,272	12,884	78,213
職員給与費（常勤+再任用）	1,412	1,089	1,090	1,114	1,165	1,179	1,179	8,228
従事職員数	320	311	311	311	305	314	314	2,186
常勤職員	131	133	133	133	143	149	149	972
再任用職員	0	0	0	0	0	1	1	2
その他	189	186	186	159	162	164	164	1,210

企画経営課にて入力

3. 目指すべき将来像の実現に向けたこれまでの主な取組

年度	実施計画事業名	事業概要
23年度		目指すべき将来像の実現に向けて、上記コストにより、どのような取組を進めてきたのかを明らかにする。 各部局において平成23年度から29年度までに実施してきた主な実施計画事業名とその事業概要を記載する。（各年度に記載する事業は「課かい数×2事業」程度とする。）
24年度		
25年度		
26年度		
27年度		
28年度		
29年度		

4. 政策指標による進捗状況の確認

No.	指標名及び実績の推移	考察																																								
1	<p>「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合</p> <table border="1"> <caption>「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> <th>基準値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21(基準)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>39.2</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>42.0</td> <td>41.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>37.3</td> <td>44.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>36.7</td> <td>45.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>42.1</td> <td>47.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32(目標)</td> <td>-</td> <td>50.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値 42.10% (29年度) 目標値 50.00% (32年度)</p>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準値 (%)	H21(基準)	-	-	39.2	H24	42.0	41.1	-	H26	37.3	44.0	-	H27	36.7	45.0	-	H29	42.1	47.9	-	H32(目標)	-	50.0	-	<p>指標の達成状況や今後の見込み及び、その背景について分析する。 ※基礎調査の指標の分析も参考に考察</p>												
年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準値 (%)																																							
H21(基準)	-	-	39.2																																							
H24	42.0	41.1	-																																							
H26	37.3	44.0	-																																							
H27	36.7	45.0	-																																							
H29	42.1	47.9	-																																							
H32(目標)	-	50.0	-																																							
2	<p>保育園の待機児童数</p> <table border="1"> <caption>保育園の待機児童数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> <th>基準値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21(基準)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>175</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>180</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>174</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>140</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>115</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>89</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>18</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32(目標)</td> <td>-</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値 18人 (29年度) 目標値 0人 (32年度)</p>	年度	実績値 (人)	目標値 (人)	基準値 (人)	H21(基準)	-	-	143	H23	175	-	-	H24	180	-	-	H25	174	-	-	H26	140	-	-	H27	115	-	-	H28	89	-	-	H29	18	-	-	H32(目標)	-	0	-	
年度	実績値 (人)	目標値 (人)	基準値 (人)																																							
H21(基準)	-	-	143																																							
H23	175	-	-																																							
H24	180	-	-																																							
H25	174	-	-																																							
H26	140	-	-																																							
H27	115	-	-																																							
H28	89	-	-																																							
H29	18	-	-																																							
H32(目標)	-	0	-																																							
3	<p>保育園の入園</p> <table border="1"> <caption>保育園の入園</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> <th>基準値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21...</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2,085</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>2,260</td> <td>2,260</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>2,260</td> <td>2,420</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,498</td> <td>2,580</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2,728</td> <td>2,740</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,062</td> <td>2,900</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3,308</td> <td>3,060</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,798</td> <td>3,220</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32...</td> <td>-</td> <td>3,380</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値 3,798人 (29年度) 目標値 3,380人 (32年度)</p>	年度	実績値 (人)	目標値 (人)	基準値 (人)	H21...	-	-	2,085	H23	2,260	2,260	-	H24	2,260	2,420	-	H25	2,498	2,580	-	H26	2,728	2,740	-	H27	3,062	2,900	-	H28	3,308	3,060	-	H29	3,798	3,220	-	H32...	-	3,380	-	
年度	実績値 (人)	目標値 (人)	基準値 (人)																																							
H21...	-	-	2,085																																							
H23	2,260	2,260	-																																							
H24	2,260	2,420	-																																							
H25	2,498	2,580	-																																							
H26	2,728	2,740	-																																							
H27	3,062	2,900	-																																							
H28	3,308	3,060	-																																							
H29	3,798	3,220	-																																							
H32...	-	3,380	-																																							
4	<p>合計特殊出生率</p> <table border="1"> <caption>合計特殊出生率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20(基準)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1.30</td> <td>1.39</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>1.29</td> <td>1.41</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1.41</td> <td>1.43</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1.27</td> <td>1.42</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1.35</td> <td>1.46</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1.39</td> <td>1.45</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H32(目標)</td> <td>-</td> <td>全国平均以上</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値 (29年度) 目標値 (32年度)</p>	年度	実績値	目標値	基準値	H20(基準)	-	-	1.30	H23	1.30	1.39	-	H24	1.29	1.41	-	H25	1.41	1.43	-	H26	1.27	1.42	-	H27	1.35	1.46	-	H28	1.39	1.45	-	H29	-	-	-	H32(目標)	-	全国平均以上	-	
年度	実績値	目標値	基準値																																							
H20(基準)	-	-	1.30																																							
H23	1.30	1.39	-																																							
H24	1.29	1.41	-																																							
H25	1.41	1.43	-																																							
H26	1.27	1.42	-																																							
H27	1.35	1.46	-																																							
H28	1.39	1.45	-																																							
H29	-	-	-																																							
H32(目標)	-	全国平均以上	-																																							

企画経営課にて入力

5. 市民意識の推移

No.	設問及び満足度の推移	考察																																				
1	<p>安心して子育てができる環境</p> <table border="1"> <caption>安心して子育てができる環境</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>若年層</th> <th>ファミリー層</th> <th>熟年層</th> <th>高齢者層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>0.30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0.33</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>0.28</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0.25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.35</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表示している数字は全体平均値</p>	年度	全体	若年層	ファミリー層	熟年層	高齢者層	H21	0.30	-	-	-	-	H24	0.33	-	-	-	-	H26	0.28	-	-	-	-	H27	0.25	-	-	-	-	H29	0.35	-	-	-	-	<p>平成21年度から29年度の満足度の推移について、全体とともに、コメントすべき年齢層（各部署の取組のターゲット）の推移について分析する。</p>
年度	全体	若年層	ファミリー層	熟年層	高齢者層																																	
H21	0.30	-	-	-	-																																	
H24	0.33	-	-	-	-																																	
H26	0.28	-	-	-	-																																	
H27	0.25	-	-	-	-																																	
H29	0.35	-	-	-	-																																	
2	<p>多様なニーズに対応できる環境</p> <table border="1"> <caption>多様なニーズに対応できる環境</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>全体</th> <th>若年層</th> <th>ファミリー層</th> <th>熟年層</th> <th>高齢者層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>0.14</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>0.12</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>0.10</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0.13</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.02</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表示している数字は全体平均値</p>	年度	全体	若年層	ファミリー層	熟年層	高齢者層	H21	0.14	-	-	-	-	H24	0.12	-	-	-	-	H26	0.10	-	-	-	-	H27	0.13	-	-	-	-	H29	0.02	-	-	-	-	
年度	全体	若年層	ファミリー層	熟年層	高齢者層																																	
H21	0.14	-	-	-	-																																	
H24	0.12	-	-	-	-																																	
H26	0.10	-	-	-	-																																	
H27	0.13	-	-	-	-																																	
H29	0.02	-	-	-	-																																	

企画経営課にて入力

※「たいへん満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらともいえない」を0点、「やや不満」を-1点、「たいへん不満」を-2点として算出した値を回答者数で除した点。

6. 現行総合計画での取組に関する考察

No.	項目	考察
1	これまでの主な取組と成果	<p>平成23年度から29年度までの7年間において、基本構想策定時の課題及び、その後新たに発生した課題に対して、どの様に取組み、課題の解決を図ってきたか総合的に考察する。</p> <p>2～5において明らかにした実績を基に、投入資源と指標の達成状況の関係、投入資源と市民満足度との関係、指標の達成状況と市民満足度との関係など、多角的に検証を行い、これまでの取組が効果的・効率的に展開されていたか、考察する。</p>
2	課題として残される事項	<p>平成23年度から29年度までの7年間の取組及び、30年度から32年度に予定している取組を実施した結果、課題として残される事項について、解決に至らない理由を明らかにする。</p> <p>考察する際には、現行の総合計画策定後に生じた社会状況の変化等、外的要因も含める。</p>
3	指標及び数値目標の妥当性について	<p>数値目標を達成できたか否かではなく、「数値目標の達成＝政策目標の実現」となる様な指標及び数値目標の設定となっていたか。</p> <p>妥当性の有無に関わらず、次の指標及び数値目標の設定に繋がるような考察を行う。</p>

7. 新たなニーズ・課題の考察

項目	考察
新たなニーズ・課題	<p>次期総合計画の計画期間を想定した中で、社会情勢や制度等、本市を取り巻く環境の変化により、新たに対応が求められる課題について整理する。</p>

8. これからの取組に関する考察

項目	考察
6及び7で課題とされた事項を踏まえた今後の取組の方向性	<p>これまでの取組の結果、課題として残されているもの及び、今後新たに課題となり得る事象に対して、どの様な方向性を持って取組を進めていくか。</p> <p>人口減少期となり、財政がより一層厳しさを増す中で、選択と集中の観点から、全ての取組について改めて見直しを図る必要がある。</p> <p>それぞれの部局における今後の展望をしっかりと見定め、今後の取組の展開について検討を行う。検討にあたっては部局間連携など、庁内横断的な取組が想定される場合は、あわせて記入する。</p>

基本理念評価シート【各部署における基本理念の振り返り】（案）

1.基礎情報

基本理念	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとづくり	こども育成部
政策展開の基本的指針	① 茅ヶ崎に暮らし、誇りと愛着を持ち、明日の茅ヶ崎を支える人を育てることに力点を置いて、子どもを産み育てること、学齢期の教育、生涯を通じた学習や文化活動、多くの市民が健康づくりに取り組み、さまざまなスポーツに参加できる環境づくりを、地域ぐるみで総合的に進めます。	
	② 子どもを産み育てやすい環境を整えるとともに、乳幼児期の過ごし方の重要性を周知・啓発しながら、子育てが初めての人も安心して子育てができる支援体制や子育て家庭のライフスタイルに合わせた保育サービスの提供、地域社会全体が子育てに関わる環境を整えます。	
	③ 子どもたちを取り巻く、家庭、地域、保育園、幼稚園、学校、事業者の連携・協力によって、子育てに関わる時間が持て、子どもたちが元気に育ち、意欲的に学び、大人も成長しながら、次代を担う人が育つ環境を整えます。	
	④ 性別、年齢、国籍、障害の有無などを問わず、あらゆる人が多様な活動に参加し、交流する、まぐくまれた市民の力が十分に生き、一人一人が自分らしく活躍できる地域社会を育てます。	
基本理念に関する現状・課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを産み育てやすい環境づくり</li> <li>○待機児童の解消</li> <li>○教育環境と教育行政</li> <li>○学校教育の充実</li> <li>○学校施設の大規模改修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○次世代育成の支援</li> <li>○文化、芸術、スポーツ活動の活性化</li> <li>○男女共同参画社会の実現</li> <li>○多様な文化の共存・交流</li> </ul>
関連部署	こども育成部、教育推進部、教育総務部、文化生涯学習部	

企画経営課にて入力

2.基本理念(政策展開の基本的指針)に対する各部署の対応状況

項目	考察
基本的指針①	<p>基本理念で設定した政策展開の基本的指針に対して、各部署として対応したこと、貢献できたこと、さらに強化していくべきことについて考察する。</p> <p>考察にあたっては「基本理念に関する現状・課題・方向性」の内容等を踏まえる。</p> <p>各部署としての考察だけでなく、庁内横断的に取り組んできたことや、今後取り組んでいくべき課題についても記入する。</p>
基本的指針②	
基本的指針③	
基本的指針④	

基本理念評価シート【基本理念】(案)

<b>基本理念</b>	1 学び合い育ち合う みんなの笑顔がきらめく ひとづくり	
<b>政策展開の基本的指針</b>	① 茅ヶ崎に暮らし、誇りと愛着を持ち、明日の茅ヶ崎を支える人を育てることに力点を置いて、子どもを産み育てること、学齢期の教育、生涯を通じた学習や文化活動、多くの市民が健康づくりに取り組み、さまざまなスポーツに参加できる環境づくりを、地域ぐるみで総合的に進めます。	
	② 子どもを産み育てやすい環境を整えるとともに、乳幼児期の過ごし方の重要性を周知・啓発しながら、子育てが初めての人も安心して子育てができる支援体制や子育て家庭のライフスタイルに合わせた保育サービスの提供、地域社会全体が子育てに関わる環境を整えます。	
	③ 子どもたちを取り巻く、家庭、地域、保育園、幼稚園、学校、事業者の連携・協力によって、子育てに関わる時間が持て、子どもたちが元気に育ち、意欲的に学び、大人も成長しながら、次代を担う人が育つ環境を整えます。	
	④ 性別、年齢、国籍、障害の有無などを問わず、あらゆる人が多様な活動に参画し、交流する、はぐくまれた市民の力が十分に生き、一人一人が自分らしく活躍できる地域社会を育てます。	
<b>基本理念に関する現状・課題・方向性</b>	○子どもを産み育てやすい環境づくり ○待機児童の解消 ○教育環境と教育行政 ○学校教育の充実 ○学校施設の大規模改修	○次世代育成の支援 ○文化、芸術、スポーツ活動の活性化 ○男女共同参画社会の実現 ○多様な文化の共存・交流
<b>関連部局</b>	こども育成部、教育推進部、教育総務部、文化生涯学習部	

1. これまでの投入資源

(単位:百万円)

一般会計	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	合計
<b>決算額</b>	17,494	17,499	17,445	18,102	18,422	20,676	24,126	133,764
事業費	14,802	15,183	15,129	15,874	16,074	18,316	21,766	117,144
職員給与費(常勤+再任用)	2,692	2,316	2,316	2,228	2,348	2,360	2,360	16,620
従事職員数	710	715	719	701	716	719	719	4,999
常勤職員	267	265	264	272	283	291	291	1,933
再任用職員	0	0	0	2	1	3	3	9
その他	443	450	455	427	432	425	425	3,057

## 企画経営課が作成

2. 政策指標の達成状況

政策指標名	基準値 (H21)	中間実績 (H27)	直近実績 (H29)	目標値 (H32)
「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合	39.2%	36.7%	42.1%	50.0%
保育園等の入園児童数(上段)と待機児童数(下段)	2,085人 143人	3,084人 115人	3,798人 18人	3,380人 0人
合計 特殊出生率	1.30人	1.35人	1.39人(H28)	全国平均以上
児童・生徒の「生きる力」(確かな学力、豊かな人間性、健やかな体)がはぐくまれていると思う市民(上段)及び保護者(下段)の割合	23.8% 31.2%(H22)	26.6% -	30.4% 32.9%(H26)	50.0% 60.0%
児童・生徒の体力	別紙参照	別紙参照	別紙参照	全国平均以上
公民館の利用率	51.6%	50.3%	51.3%(H28)	65.0%
図書館資料の市民平均貸出冊数	4.2冊	4.6冊	4.5冊(H28)	5.0冊
大規模改修事業(上段)と環境改善事業(トイレ改修率)(下段)の進捗率	0.0% 48.2%	33.3% 65.9%	40.0%(H28) 65.9%(H28)	100% 80.0%
学校内(上段)・登下校時(下段)の事故報告件数	41件 6件	51件 4件	29件(H28) 6件(H28)	40件以内 6件以内
児童一人当たりの給食食べ残し量	4.0kg	2.8kg	1.8kg(H28)	3.5kg
講座・イベントの定員に対する受講希望割合	78.2%	53.0%	79.0%(H28)	100%
文化芸術事業参加者数	497,519人	476,611人	425,489人(H28)	550,000人
スポーツ実施率	32.5%	48.3%	52.2%	50.0%
「男女共同参画が実現している」と思う市民の割合	9.5%	8.4%	12.0%	30.0%

### 3. 基本理念における項目別の重要度及び満足度の推移



考察

＜平成21年度から平成29年度への推移の分析＞  
 基本理念の各項目における平成21年度から平成29年度への市民意識の推移について分析する。  
**企画経営課が作成**  
 ＜今後の方向性＞  
 次期総合計画の計画期間においては、少子高齢化の更なる進展や人口減少期に入ることにより、より一層、財政状況が厳しくなることが予測されることから、部局内のみならず、領域内

### 4. 基本理念に対する評価結果

#### 評価結果

各部局で検討した「基本理念（政策展開の基本的指針）に対する各部局の対応状況」の内容とともに、平成28年度に実施した政策・施策評価における分析等を基に、7年間の基本理念における取組を改めて分析します。  
 なお、考察にあたっては、各部局の現況を領域内で情報共有したうえで、領域として対応したこと、貢献できたこと、さらに強化していくべきことについて検討する。